

新規就農先輩の軌跡 No. 148

〈2022 (R4) 5 月掲載〉

<p>新規就農者の素顔</p> <p>氏名：能勢 明宏 住所：豊岡市但東町 年齢：38 歳</p>   <p>「ネギマッチョ」中耕培土機</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：68a 施設：簡易ビニールハウス 10 m² 経営内容：露地野菜＋水稲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピーマン 35a ・白ネギ 40a ・水稲 40a <p>労働力：本人、妻、アルバイト 5 名 出荷先：J A、卸業者</p>  <p>たじまピーマン</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2013 年 北海道からUターン 2014 年 豊岡農業スクールで1年間研修 2015 年 地元豊岡市但東町にて就農 ピーマン栽培主体 2019 年 白ネギ栽培開始 2021 年 但東町野菜生産組合役員 現在に至る</p>	<p>就農して良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点、嬉しかったこと 自分の考えで作業が進められること</p> <p>○苦労した点 最初の資金繰りが大変だったこと 人手の確保</p>
<p>農業をめざした動機・きっかけ</p> <p>おいしいものを作りたいという思いと、地元で仕事がしたいという思いと、会社で団体行動をするのではなく自己責任のもと仕事がしたかった。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>自給自足が流行っているようですが、家庭菜園と営農は全くの別物で注意が必要です。栽培技術の習得、機械作業技術の習得等『百姓』の名前の通り、100の技術を広く浅く習得する気構えで就農してもらいたいと思います。</p> <p>自分で考え行動し、上手に出来た時の喜びは、農家でしか味わえない喜びです。</p>